
平成 27 年度（2015 年度） 事 業 報 告 書

（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

学校法人 共 済 学 院

平成 27 年度（2015 年度）

事業報告書

目次

I 学園の概要

1. 設立の背景と理念 1P
2. 設置する学校・学部・学科等 1P
3. 学生数 2P
4. 専任教職員数 2P
5. 役員数 2P

II 事業の概要

1. はじめに 3P
2. 大学について 3P

III 財務の概要

※別紙

I 学園の概要

1. 設立の背景と理念

我が国は、第2次世界大戦の敗戦により荒廃した社会の中で文字どおりゼロからスタートしました。そして戦後、国民のたゆまぬ努力により、科学技術の高度な進展とともに工業技術の発展を遂げ、世界有数の経済大国・技術大国に成長しましたが、人間性の高揚においては未だしの感あり、今後は文化大国を目指して、前進致さねばなりません。一方、乳幼児死亡率の低下と公衆衛生ならびに医療の向上により国民の寿命は飛躍的に延び、今日ではいわゆる高齢化社会を迎えたところであり、今後ますます高齢者が増加すると予測されています。

このような高齢化社会にあって、すべての国民が豊かな老後を過ごすためには、国民一人ひとりが心身ともに健康で生甲斐をもって日々充実した生活を送ることが必須であります。このために医学の分野のみならず、保健医療福祉の分野の充実・拡充が急務となっております。

今日の医療現場では、医師のみならず看護師、臨床心理技術者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の医療専門スタッフがチームを組み、一体的にケアに当たるいわゆるチーム医療の必要性が叫ばれており、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっております。

このような社会の要請に鑑み、私たちは、保健医療分野の充実を図るため「日本保健医療大学」を設立し、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚と、共存共栄の精神（共済主義、又は共済主義精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献しようとするものであります。

2. 設置する学校・学部・学科等

- 日本保健医療大学 （平成 22 年 4 月開校 平成 21 年 10 月 30 日 設置認可）
 - 保健医療学部
 - ・看護学科

3. 日本保健医療大学の入学定員・収容定員・在籍者数等

保健医療学部 入学定員 100人 収容定員 400人 ()は男性数

	1年	2年	3年	4年(卒業生)	合計
看護学科	102 (16)	107 (32)	123 (25)	112 (28)	444 (101)

(H28.3.31現在数)

4. 専任教職員数

教員

()は男性数

	教授〔学長〕	准教授	講師	助教	助手	合計
基礎系	5 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (6)
看護系	7 (2)	8 (0)	6 (0)	5 (2)	4 (1)	30 (5)
計	12 (6)	9 (1)	7 (1)	5 (2)	4 (1)	37 (11)

※非常勤教員：60、非常勤助手：12

(H28.3.31現在数)

職員 ()は非常勤・派遣数

事務局長	1 (0)
教務課	13 (6)
総務課	6 (1)
図書館	4 (4)
校務員	3 (3)
計	27 (14)

(H28.3.31現在数)

5. 役員数

	定員	現員
理事	10～12	12
監事	2	2
評議員	21～25	25

(H28.3.31現在数)

II 事業の概要

1. はじめに

平成 27 年度は昨年に引き続き、六回生となる入学生を受け入れた。入学者の受け入れについては文部科学省から付された改善意見に対応すべく、入学定員に近づけるよう配慮した。18 歳人口が減少する中、昨年度は全国的に看護学科の新設が増えたこと（日本看護系大学協議会加盟数：248）等が要因の一つとなり志願者数が減少したが、今年度は昨年度に比べて 26% 伸び、保健医療学部看護学科の定員 100 名に対し、入学者としては定員の学生数を確保することができた。看護師・保健師の資格取得志向が強まる中、本学の理念が受験者や保護者に受け入れられたものとする。

専任教員に対しては、FD に関する研修会として、本学の設立の趣旨・目的、運営の方法等についての講演や討議を行い、共通認識を深めた。また、外部講師による科学研究費説明会・研究倫理講演会も実施した。その他に、新しく着任する専任教員を含め、全教員に対し、本学の基本方針を説明し、質疑等を行った。

学生に対しては、授業開始前にガイダンス期間を設け、日本保健医療大学の理念、日本保健医療大学が求める学生像、教育目標、学部学科の特色、授業科目の履修、学生生活等について詳細な説明を行った。また、担任制度、学習指導教員、Student Life 委員などによる指導、支援も逐次行い、充実した学生生活を送れるよう取り計らっている。

今後は、計画に基づいて教育課程の実施を着実にを行うとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めたい。

2. 大学について

(1) 事業の概要

大学校務に関する事

- ・平成 27 年 4 月 1 日 第 6 回入学式・保護者説明会
- ・平成 27 年 4 月 2 日～6 日
新入生、在学生ガイダンス・健康診断
- ・平成 27 年 4 月 6 日 前期授業開始
- ・平成 27 年 5 月 25 日～ 公衆衛生臨地実習、学校・市町村等へ（4 年生）
- ・平成 27 年 7 月～9 月 課題別臨地実習、病院・施設等へ（4 年生）
- ・平成 27 年 8 月 24 日～9 月 18 日
基礎看護学Ⅱ実習（2 病院、12 病棟、111 名）
- ・平成 27 年 9 月 14 日～平成 28 年 3 月 25 日
領域別臨地実習（3 年生）（19 病院、31 施設）

- ・平成 28 年 2 月 17 日 第 2 回看護白衣式 (1 年生 102 名)
特別講演会 演題 「助産師から伝えたい青年期の性と生」
講師 埼玉県助産師会 宇田川久美子先生
- ・平成 28 年 3 月 7 日～3 月 18 日
基礎看護学 I 実習 (2 病院、11 病棟、102 名)

入試

- ・平成 27 年 8 月 29 日 第 1 回 選抜入試
- ・平成 27 年 11 月 3 日 第 2 回 選抜入試
第 1 回 推薦入試
- ・平成 27 年 11 月 23 日 第 3 回 選抜入試
第 2 回 推薦入試
- ・平成 27 年 12 月 6 日 第 4 回 選抜入試
第 3 回 推薦入試
- ・平成 27 年 12 月 20 日 第 5 回 選抜入試
第 4 回 推薦入試
- ・平成 28 年 1 月 10 日 第 6 回 選抜入試
第 5 回 推薦入試

- ・平成 28 年 1 月 23・24 日 第 1・2 回 一般入試
- ・平成 28 年 2 月 2・3 日 第 3・4 回 一般入試
- ・平成 28 年 2 月 11 日 第 5 回 一般入試
- ・平成 28 年 2 月 21 日 第 6 回 一般入試
- ・平成 28 年 3 月 6 日 第 7 回 一般入試
- ・平成 28 年 3 月 21 日 第 8 回 一般入試

センター試験利用入試

- ・平成 28 年 1 月 12 日～2 月 3 日 第 1 回
- ・平成 28 年 2 月 9 日～2 月 17 日 第 2 回
- ・平成 28 年 2 月 23 日～3 月 2 日 第 3 回

オープンキャンパス

- ・平成 27 年 6 月 20 日 (土) ・平成 27 年 7 月 11 日 (土)
- ・平成 27 年 8 月 1 日 (日) ・平成 27 年 8 月 22 日 (土)

- ・平成 27 年 9 月 26 日（土） ・平成 27 年 10 月 25 日（日）
- ・平成 27 年 11 月 14 日（土） ・平成 27 年 11 月 28 日（土）

地域貢献

○子ども大学さって

- ・[入学式] 8月26日（水）9：30～10：00 場所：幸手市勤労福祉会館
山西実 子ども大学学長（幸手市教育長）の開校挨拶の後、入学生紹介（幸手市の小学4年生～6年生30名）があり、学生代表のことばの後、渡辺邦夫幸手市長が来賓祝辞を述べた。その後記念撮影を行い、1日目のオリエンテーションに臨んだ。
- ・[第1回目] 入学式終了後 10：00～12：00 場所：幸手市勤労福祉会館、岸本家ほか
【ふるさと学】「幸手の歴史と遊びを知ろう」 受講者26名
講師 岡本淳芳、他 NPO 法人 日光街道幸手を感じる会
- ・[第2回目] 9月13日（日）10：00～11：30 場所：日本保健医療大学 講義室1
【生き方学】「自分の心をのぞいてみよう」 受講者29名
～のりこえる力を育てる授業～
講師 岸田敦子 日本保健医療大学 小児看護学 准教授
田崎知恵子 日本保健医療大学 小児看護学 教授
- ・[第3回目] 10月18日（日）10：00～11：30 場所：ウェルス幸手 第1会議室
【生き方学】「世界の中の日本プログラム」 受講者28名
～世界という家族～
講師 島田徳浩 （一社）幸手青年会議所 平成27年理事長
- ・[第4回目] 11月15日（日）9：45～11：15 場所：日本保健医療大学 講義室4
【はてな学】「ヒトの身体のしくみ」 受講者30名
講師 松山永久 日本保健医療大学 准教授
- ・[修了式] 11：30～12：00 場所：日本保健医療大学 講義室1
最終日の講義終了後、修了式が執り行われ、山西実 子ども大学学長から30名全員に修了証が授与された。学生代表の感謝の発表があった後、平良専純日本保健医療大学学長から祝辞が述べられた。最後に全員で記念撮影を行い解散した。

○公開講座

第9回目 平成27年11月7日(土) 13:00~16:00

テーマ 熟年世代の健康生活

ー健やか・スタディー・幸手(3S) 身につけよう生きる知恵ー

講演1 「心身を養うのは栄養だけでなく食卓の安らぎと温かさ」

講師 小出浩久先生 日本保健医療大学 国際保健 非常勤講師

NPO CAMP(Culture Assistance Medicine Peace)内科医

講演2 「薬物療法とアンチエイジング」

講師 岡部智恵先生 日本保健医療大学 薬理学 非常勤講師

中山病院薬剤部部長 薬剤師

対象 幸手市民

入場者 62名

場所 日本保健医療大学 講義室1

○その他

- ・11月1日(日)幸手市健康福祉まつりに、医療系大学のボランティアサークル活動として、数名の学生がブースに参加した。
- ・正田泰基講師が、幸手市教育委員会から、『平成26年度教育委員会重点施策にかかる事務に関する点検及び評価報告書(案)』への知見について依頼され、提言を行った。
- ・池田智子教授が、幸手市長より幸手市介護認定審査会委員を委嘱され2年間活動中。
- ・池田智子教授と石崎順子講師が幸手市から依頼され、健康長寿埼玉モデル事業実施に係る助言を行っている。
- ・池田智子教授が、幸手市長より協力依頼を受け2年間、幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議委員を委嘱された。
- ・田崎知恵子教授が、幸手市長より幸手市子育て応援サークル等活動助成事業審査委員会委員を委嘱された。
- ・関根正教授が、幸手市長より幸手市介護保険運営協議会委員を委嘱された。

施設の整備・他

- ・学生自習室の照明をLEDに換えた。
- ・プールサイドの2室をPT学科・OT学科設置準備室として整備した。

(2) 学生募集状況

平成28年度の入学試験は、選抜入試6回、推薦入試5回、一般入試8回と4年目となるセンター試験利用入試を3回行ったが、志願者数が大幅に減った。

昨年度は、志願者数が回復傾向にあると思われたが、学生募集要項等ツール等の作成が遅れたこと、高校訪問がタイムリーに行えなかったことなどの要因に加え、18歳人口が減少する中、文系学部へ流れる受験生が増えたこと等、複合的な要因により平成28年度は、保健医療学部看護学科の定員100名に対し、入学予定者としては定員を下回り86名となった。

今後は、全ての動きを早くすると共に、募集広告を効率的に行う等、オープンキャンパスへの誘致を積極的に働きかけるように努める必要がある。

次年度は、理学療法学科、作業療法学科の募集も行うことになる予定であるので、学生募集に関して一層の努力と知恵を絞った対策が必要である。

平成28年度入学試験状況及び入学者数 (H28.3.31時点)

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
AO入試	24 (4)	24 (4)	12 (2)	12 (2)
社会人入試	4 (1)	4 (1)	4 (1)	2 (0)
指定校推薦入試	10 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (2)
公募制推薦入試	21 (2)	21 (2)	18 (2)	17 (2)
一般入試	127 (31)	117 (25)	102 (19)	40 (9)
センター入試	35 (4)	35 (4)	35 (4)	6 (1)
合計	221 (44)	211 (38)	181 (30)	86 (16)

() は男性数

(3) 卒業生の概況

平成27年度卒業生 進路（内定）調査結果				H28.3.3現在			
	病院・施設名	所在地	人数		病院・施設名	所在地	人数
1	イムス富士見総合病院	埼玉県	2	43	小張総合病院	千葉県	3
2	春日部中央総合病院	埼玉県	6	44	順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県	1
3	行田総合病院	埼玉県	2	45	新松戸中央総合病院	千葉県	2
4	久喜市役所	埼玉県	1	46	千葉県救急医療センター	千葉県	1
5	久喜総合病院	埼玉県	3	47	千葉県こども病院	千葉県	1
6	栗橋病院	埼玉県	5	48	千葉西総合病院	千葉県	1
7	慶和病院	埼玉県	1	49	東京慈恵会医科大学附属柏病院	千葉県	1
8	越谷市立病院	埼玉県	1	50	茨城西南医療センター病院	茨城県	3
9	さいたま市立病院	埼玉県	3	51	牛久愛和総合病院	茨城県	1
10	埼玉県立がんセンター	埼玉県	1	52	筑波大学附属病院	茨城県	1
11	埼玉県立循環器・呼吸器センター	埼玉県	1	53	海老名総合病院	神奈川県	1
12	さいたま市民医療センター	埼玉県	1	54	横浜栄共済病院	神奈川県	1
13	さいたま赤十字病院	埼玉県	2	55	横浜市南部病院	神奈川県	1
14	埼玉西協同病院	埼玉県	1	56	藤沢市鶴沼東地域包括支援センター	神奈川県	1
15	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	埼玉県	1	57	自治医科大学附属病院	栃木県	1
16	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	4	58	芳賀赤十字病院	栃木県	1
17	三愛会総合病院	埼玉県	1	59	日高病院	群馬県	1
18	秀和総合病院	埼玉県	2	60	浜松医科大学医学部附属病院	静岡県	1
19	白岡中央総合病院	埼玉県	1	61	北アルプス医療センターあづみ病院	長野県	1
20	新越谷病院	埼玉県	1	62	佐久総合病院	長野県	1
21	精神科急性期病院 北辰	埼玉県	1	63	魚沼基幹病院	新潟県	1
22	戸田中央総合病院	埼玉県	1	64	新潟県病院局	新潟県	1
23	獨協医科大学越谷病院	埼玉県	2	65	総合南東北病院	福島県	1
24	羽生総合病院	埼玉県	3		合 計		111
25	東埼玉総合病院	埼玉県	5		◎埼玉県内の就職先：29 県外：36		
26	丸山記念総合病院	埼玉県	1		◎18病院（24名）が公務員として勤務		
27	みさと健和病院	埼玉県	2		□就職・進路先内訳（都道府県別）		
28	三郷中央総合病院	埼玉県	3		都道府県名	人数	割合
29	毛呂山町役場	埼玉県	1		埼玉県	59	52.7%
30	あやせ循環器リハビリ病院	東京都	1		東京都	23	20.5%
31	池上総合病院	東京都	2		千葉県	11	9.8%
32	板橋中央総合病院	東京都	5		茨城県	5	4.5%
33	稲城市立病院	東京都	2		神奈川県	4	3.6%
34	九段坂病院	東京都	1		栃木県	2	1.8%
35	立川相互病院	東京都	1		群馬県	1	0.9%
36	東京蒲田医療センター	東京都	3		静岡県	1	0.9%
37	東京都立駒込病院	東京都	2		長野県	2	1.8%
38	虎ノ門病院	東京都	1		新潟県	2	1.8%
39	日本医科大学病院	東京都	2		福島県	1	0.9%
40	日本大学医学部附属板橋病院	東京都	2		就職希望なし	1	0.9%
41	三井記念病院	東京都	1		合計	112	100.0%
42	行徳総合病院	千葉県	1		◎111名のうち、54名が奨学金の受給者（48.2%）		

(4) 幸手市との連携

本学の教育・研究成果を広く社会に公開し、地元の大学として幸手市民の健康福祉・文化の向上に資することを目的として、本学の非常勤講師が講師となり公開講座を行った。公開講座は、通算 9 回を数え、確実に地元根付いて来た。また、子ども大学さつては 3 年目となり、3 名が実行委員として参画し 4 回開催の内 2 回を本学の教員が担当した。その他、各種の幸手市関連行事にボランティアとして学生が参画するなど、積極的に地域との交流を行った。

1 月 13 日（水）、作田理事長、平良学長、金海事務局長、金曾総務課長が幸手市役所に渡辺邦夫市長を訪ね、新年の挨拶と理学療法学科、作業療法学科の新設に向けて準備を進めていることの報告と、幸手市の保健医療について意見交換を行う等、懇談した。

(5) 学園祭

10 月 24 日（土）、25（日）の 2 日間、第 6 回日本保健医療大学学園祭を開催した。4 月に入学した第 6 回生 108 名をリードして、新 2 年生が中心となって学園祭の運営に取り組んだ。

学習成果の発表や催し物、学園の発展を見に、2 日間で延べ約 923 名の保護者、幸手市民、幸手市関係者、大学関係者等が見学に訪れた。

看護系大学に相応しい内容の講演や学習成果発表、健康チェックコーナー等、各グループの趣向を凝らした催しを楽しんでいただいた。

(6) 看護学実習

看護学実習の目的は、学生が学内で学んだ専門的知識・技術・態度を実際の場面に応用し、看護の対象を全人的にとらえ、科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養うことである。

本学では、看護学実習の位置づけは、4 つに区分し、段階的な学習ができるように組まれている。

最初は、1 年次後期 基礎看護学実習 I として、3 月 7 日から 3 月 18 日の期間実施された。目的は、「看護の対象を「生活者」として理解し、看護への興味と関心を深め、4 年間の学習を動機づけること」である。実習病院は、2 施設 11 病棟に分かれ、臨地実習を終えた。1 年生は、初めての臨地実習であることから、緊張しながらも患者様とコミュニケーションを円滑にし、信頼関係を築くことの大切さを学んでいた。

次に、2 年次前期 基礎看護学実習 II として、8 月 24 日から 9 月 18 日の期間実施された。

実習目的は、「看護実践の中で対象を理解し、看護技術の適用や人間関係、看護過程を用いた看護の展開の仕方を学ぶ」ことである。実習病院は、2施設12病棟に分散し実施された。2年生の学習は2週間患者様を受け持ち自主的に看護実践を行ったことから、患者様との信頼関係を保つことや患者様が何を必要としているか、疾患の理解、看護の必要性等観察力を高め、患者様のニーズの理解ができるように学習を高めている。

次の段階として、3年次後期に計画されている領域別実習は、老年看護学実習（3施設5病棟）、成人看護学実習（6施設10病棟）、小児看護学実習（9施設）、母性看護学実習（7施設）、精神看護学実習（3施設）、在宅看護学実習（14施設）であるが、成人看護学実習は学生の学習効果を考慮し、慢性期実習・急性期実習の2領域としてあることから領域別実習7領域の臨地実習が行われた。実習の目的は、「人の発達の特徴を理解し、健康障害に対する看護のケアを実践していく学習」である。学生は半年間という長期間の臨地実習であったことから、学生自身の人間的成長を促し、既習の理論・知識の活用の仕方を学習する良い機会となっている。

学生は、臨地実習終了後、さまざまな人々と出会い人間的成長が見られ、忍耐力、相手を尊重することの大切さを学んでいた。更に、知識の統合と実践への応用について学ぶと同時に日頃の学習不足を自覚していた。

(7) 公衆衛生看護学実習

公衆衛生看護学実習の目的は、地域住民の健康の保持増進、疾病予防、ならびに合併症や悪化予防を目指して組織的に展開される公衆衛生看護活動の実際を通して、基本的原則とその意義を理解することである。

本学では、保健師コースを選択した学生25名に対して、4年次前期に5単位225時間の実習を、平成27年6月1日（月）から8月7日の期間に実施した。5単位の構成は、保健所実習2単位、市町村実習3単位である。学生は、具体的な実習課題を明確にして実習にのぞみ、保健所実習では、地域保健の広域的、専門的、技術的拠点としての機能と、所属する保健師の役割を理解した。市町村実習では、地域診断、健康教育、家庭訪問、各種保健事業への参加を通して、地域住民に身近で利用頻度の高い保健サービスを提供する市町村の機能と、市町村に所属する保健師の役割について具体的な理解を深めた。